令和３年９月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和３年９月　１日（水）
２．開 催 日 時　令和３年９月１５日（水）　１３時３０分～１５時３０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　１９人（Web 会議システムによる出席１８人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、山田　毅、大屋　和雄、宗村 進之介、上島　健、秋山 正稔、田村 大輔、富居 博治、横山 聡洋、竹内 博次、平井 英次、藤田 亮則、後藤 章洋、池田 隆久、川村 道夫

９．出席監事の氏名

川崎一郎、秦　研二

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　創立５０周年記念事業について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、前回の理事会で承認されたメンバー１６名について再度報告があり、８月４日に副理事長３名と打合せ後、９月６日にメンバーの中から創立４０周年と（一社）日本金属熱処理工業会の創立６０周年に携わった方々と副理事長３名で事前の打合せを行ったことの報告があり、第１回実行委員会を９月２７日に開催することになったことの説明があった。

事前打合せの段階では、「感謝」と「未来への展望」をテーマとし、コロナウイルス感染症を考慮に入れて計画をすることになったことと会場についても日本工業倶楽部以外も候補として考えることになったことの説明があった。

嶋崎議長から、５０周年は一つの節目となるので、厳かにそして華々しく開催したい旨述べられた。

嶋崎議長は、創立５０周年記念事業について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　BCP 推進 WG について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、７月３０日開催の第２回 BCP 推進 WG について報告があった。連携型 BCP の構築を推進するためのチラシの最終確認を行ったことと配布方法について検討し、メールと FAX で事前に告知を行い、その後代表者宛にチラシを郵送することになったことの説明があった。

玉木副理事長から、①BCP の普及活動を行うことと②２４ブロックに分けたエリアのリーダーに連携事業を説明し、連携体制を構築するために作成したことの説明があり、BCP 推進 WG のメンバーに加わってもらい、BCP の策定支援と連携型のシステムを構築して行きたいと述べられた。

嶋崎議長から、経済産業省から連携型の認定をいただき、役に立つ活動をして行きたいと述べられた。

嶋崎議長は、BCP推進WGについて、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　新年賀詞交歓会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から令和４年１月２０日（木）に開催する予定で会場（芝パークホテル）を予約していることの報告があり、コロナウイルス感染症の状況もあるが、準備する時期に来ているため意見を伺いたいことの説明があった。

嶋崎議長から、現段階ではいろいろな想定をして検討しないといけないと述べられ、意見が求められた。

山田理事から、会食をするか、しないかの二通りを想定しないといけないのと早目の決定が必要であると述べられ、会食は難しいと考えていると意見があった。

後藤理事から、コロナウイルス感染症が落ち着いていないのと越境するリスクがあると考えられるので、ハイブリッド型で開催することも選択肢と考えていると意見があった。

富居理事から、現状と変わらない状況であれば、参加は難しいと考えていると意見があった。

大屋理事から、自社として出張と会食はすべて禁止している状況なので、参加は難しいと意見があった。

嶋崎議長から、日程も含めて状況を考えて早い段階で決断したい旨述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月に開催した第１回青年部会において、関東経済産業局から「自動車産業を巡る状況と対応の方向性」について情報提供をいただき、青年部会主催のセミナーのテーマとして取り上げたいとの意見があり、関東経済産業局に相談した結果、講師を引き受けていただくことになったことの報告があった。当初ハイブリッド型での開催を考えたが、コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンライン型での開催となったこととテーマの内容からマーケティング委員会と共催で行うことの説明があった。また東京都中小企業団体中央会の支援事業を活用することも報告があった。

講師：関東経済産業局 製造産業課 航空宇宙・自動車産業室 係長 早乙女 孟 氏

田村部会長から、関東経済産業局と情報交換をしている中でカーボンニュートラルや自動車産業の動向が気になるところからセミナーのテーマとして取り上げたことと６月の際は時間が短かったことから９０分の時間を取って行うことと関東経済産業局の近くの会場

からオンライン配信することの説明があり、参加について要請があった。

嶋崎議長から、組合員に広く呼び掛けをし、今後の情勢に対処するヒントや気づきにつながればと考え、組合員に有益な情報を提供する場にしたいと述べられた。

川村理事から、先日カーボンニュートラルのオンラインセミナーに参加したことが述べられ、情報を集めたいのでもっと開催して欲しいと意見があった。

平井理事から、今の状況からするとオンラインでの開催が主力となると思うと述べられ、技術スタッフも参加できるので、オンラインでの開催を推進して欲しいと意見があった。

嶋崎議長から、この１年でオンラインでの開催が定着していることが述べられ、コロナの状況が改善されたとしてもオンラインを併用して遠距離の方も参加できる形を続けていくべきだと考えていると意見があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、９月３日に実施された第２回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①SDGs について（組合員向けのセミナーの開催、団体と企業での取り組み）、②創立 50 周年記念事業について（総務委員会から５名がメンバー）、③組合 HP について（バナー広告の大きさ、BCP 推進 WG のサイトの更新）、④日本金属熱処理工業会：外国人実習制度について（移行対象職種認定までの流れ）、⑤報告事項について（YouTube 動画、コロナワクチンの接種状況）。

嶋崎議長から、SDGs については日本熱処理技術協会も取り組みを検討していることの報告があり、外国人実習制度については、１０月に第１回専門家会議が開催されてから第２回専門家会議施行試験を経て、第３回専門家会議で適否を判断されるまで道のりが長いことの説明があった。

横山理事から、問題作成に関わっていることから、施行試験の試験官と受験生については、技術委員と組合員企業の協力が必要なので、総務委員会とも連携を取って進めて行きたい旨述べられた。

竹内理事から SDGs については、環境、教育、エネルギーなど熱処理に関係しているところから進めて行きたいと考えているので、組合から情報を得られればスピードアップして進められえるのではないかと意見があった。またコロナについては、家族の感染で濃厚接触者となるケースがあるため、週１回職場のグループから１名の PCR 検査を実施し、感染拡大防止の対策を取っていることの説明があった。

続いて安室専務理事から、９月８日 Web 開催の技術・品質合同委員会の説明の前に、委員会終了後に東京都立産業技術センターと業種別交流会を Web で開催したことの報告があった。委員会については、議事録に基づき説明があった。

主な内容については、①技能検定試験受験対策講習会について（オンラインの機器操作に増員が必要なこと、３級受験者への対応、講師からの意見）、②BCP 推進 WG（第 2 号議案で報告済）、③ISO 内部監査員養成研修会について（カリキュラムの見直し）、④ガス燃焼技術基礎研修会（東京ガス㈱側で受入れが出来ず、中止）、⑤品質活動発表会（開催の確認）、⑥東京都技能検定試験について（厚生労働省のコロナ感染防止対策ガイドラインに準じて実施）。

南副理事長から、活性化と魅力のある活動を進めて行き、遠方からも参加できるハイブリッド型のセミナー等を充足して行きたいと述べられた。

上島理事から、受験対策講習会の３級対策として過去問を配布することに問題がないのかと質問があり、安室専務理事から以前過去問を冊子として出していた時期があり、東京都の方からクレームがあり、作成を止めたと聞いていると報告があった。

嶋崎議長から、事務局に過去の経緯と他府県の動向を確認するように指示があった。

藤田理事から、ハイブリッド型の講習会を実施して見て、時間の制約のある中で受講が可能との意見があったので、ハイブリッド型の講習会を基本として進めて行ければと考えていると意見があった。

秋山理事から、Web 会議の急速な普及があり、講習会・セミナーの在り方が変わって来ているので、もっと精度を上げて運営できればと考えていると意見があった。

横山理事から、講師の人材不足があるので、育成が急務となっていることと JIS の変更もあるのでテキストの編集を検討したいことの意見があった。

嶋崎議長から、講師の人材不足について自前で講師陣を持つことが重要であると述べられ、講師の依頼があった際は協力をお願いしたい旨述べられた。

嶋崎議長から、コロナの影響で東京工業大学の中核人材のカリキュラムが変更になったことの説明があり、今後の動向について安室専務理事に確認するように指示があった。

安室専務理事から、９月１０日開催の（一社）日本金属熱処理工業会のマーケティング委員会について報告があった。主な内容は、①第４回価格交渉サポートセミナーについて（テーマ:Web を活用した営業について､ガイドラインの改定について経済産業省の説明)、②青年部会とのセミナーの共催について、③購入品価格調査について（東部の回収率、日本金属熱処理工業会の集計結果が届き次第報告をする。）、④関東経済産業局への情報提供について（市場動向に関する情報について概要を報告する）、

上島理事から、購入品価格調査について未提出の組合員の属性について日本金属熱処理工業会と事務局に分析をお願いしたことの報告があった。

宗村理事から、購入品価格調査については、自社でもエリアが違うとコストも違って来るので、難しいと感じていると意見があった。

池田理事から、BCP の連携について大変関心があるので、BCP 推進 WG のメンバーに加わりたいと述べられた。

嶋崎議長は、各委員会の活動状況について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき４月から９月の組合員及び賛助会員の異動について報告があった。

続いて令和３年度東京都中小企業団体中央会会長表彰の組合功労で秋山正稔理事の受賞が決定したことの報告があった。

次に第４２回日熱会（西部金属熱処理協同工業組合監事）が中止になったことの報告があった。

嶋崎議長から、前段の正副理事長会議で賦課金の減免について意見交換を行ったことの報告があり、来期コロナの状況を踏まえて検討したいことの説明があった。

嶋崎議長から、組合として「第９回ものづくり日本大賞」の人材育成部門に応募したことの報告があった。

嶋崎議長から、コロナ対策として抗原検査キット（2,000 円位）を購入し、従業員に配布していることの報告があり、購入に関する情報提供について説明があった。

秦監事から、ISO 内部監査研修会についてオンライン開催をお願いしたいことの意見があり、嶋崎議長から、事務局に早急に検討し結論を出すように指示があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和３年９月１５日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　大屋 和雄　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　平井 英次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席理事　池田 隆久　㊞

〃　川村 道夫　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞

〃　秦　研二　㊞